平成 23 年５月 11 日

各　　位

会　社　名　株式会社ファーストエスコ
代表者名　代表取締役社長　島﨑知格
（コード番号:9514　東証マザーズ）
問合せ先　取締役管理本部長　小池久士
（ TEL. 03-3538-5881）
URL. http://www.fesco.co.jp/

白河ウッドパワー株式譲渡条件の変更に関するお知らせ

当社子会社である、株式会社白河ウッドパワーは、平成 23 年２月 10 日付の「子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」でお伝えしたとおり、日本テクノ株式会社に 100％株式を譲渡する事で合意しておりました。しかし当社と日本テクノでは、この合意に関して一部修正をし、譲渡する株式の割合を 50％とすることで新たな合意を結ぶことを決定いたしましたのでお知らせ致します。

１．譲渡条件の変更の理由

この度の震災の影響により、東日本全域において電力需給は逼迫した状況が続いており、今後夏季需要の増加を勘案するともう一段の需要抑制が避けられない状況となっております。こうした中、株式会社白河ウッドパワー大信発電所では今年３月 20 日以降、昼夜フル出力(11,500ｋW)での稼動を継続しております。この稼働状況を維持するため、白河ウッドパワーでは様々な施策を講じて運転を行っております。発電所のオペレーション全般を受託運営しているのは当社 100％子会社である株式会社ファーストバイオスですが、白河ウッドパワーが今後も引き続き高い稼動実績を維持していくためにはファーストバイオスのオペレーション受託が不可欠です。また当社としましても、白河ウッドパワーの事業運営に関して一定の資本的関係を維持していくことにより、広範な意味合いで地域に対する責任を果たしていくことが出来ると判断しております。

このため、現時点の電力業界の動向を見極め、継続して安定的な電力供給を実現するには業界内の知見を有する当社と日本テクノの両社が 50%ずつの持分により相互に協力して白河ウッドパワーの運営を推進していくことがより合理的であるとの結論に至りました。この結果、白河ウッドパワーは当社と日本テクノの共同出資会社となり、今後の運営に関しては両社で協力して進めていくこととなりました。

２．部分譲渡後の両社の役割

この度の合意におきまして、白河ウッドパワー株式の部分譲渡の実施日は６月 30 日を予定しております。譲渡実施以降の両社の役割としましては、当社は子会社であるファーストバイオスを通じて発電所運営全般に関する支援を行います。日本テクノは、電力小売事業者として白河ウッドパワーの生産する電気を全量買い付け、最終需要家に販売することにより発電所の電力の売上を支援します。また、白河ウッドパワーの経営、および財務的

な支援に関しましては両社で協力して行ってまいります。なお、同社の社長は引き続き小池久士が務める予定です。

３．修正後の譲渡株式数及び所有株式数の状況

（１）　異動前の所有株式数	19,601 株 (議決権の数：19,601 個) (所有割合：100.0%)
（２）　譲　渡　株　式　数	9,800 株 (議決権の数： 9,800 個) (発行済株式数に対する割合： 50.0%) (譲渡価格：5000 万円)
（３）　異動後の所有株式数	9,800 株 (議決権の数： 9,800 個) (所有割合： 50.0%)
（４）　自　己　株　式　消　却	1 株

注）本譲渡の実施に先立ち、白河ウッドパワーは自己株式１株をファーストエスコから取得し消却する予定であります。これにより白河ウッドパワーの発行済株式総数は 19,600 株となります。

４．今後の見通し

本白河ウッドパワー株式譲渡条件の変更において当社グループの持分は、50%となります。これにより白河ウッドパワーは平成 23 年６月（予定）をもって連結対象子会社から除外され持分法適用関連会社となる見込ですが詳細は監査法人と協議中です。一方、譲渡予定日が６月末となったため平成 23 年６月期の当社グループの業績においては、白河ウッドパワーの平成 23 年４月～６月の売上高見込額 273 百万円、営業利益見込額 43 百万円が増加する見通しです。本件に関し平成 23 年２月 10 日付「特別損失の計上に関するお知らせ」で公表しました事業構造改善費用の見込額については、本日、「特別損失の計上に関する修正のお知らせ」を公表しておりますので御覧ください。

また、平成 23 年６月期通期の業績予想につきましても、本日「平成 23 年６月通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますので御覧ください。

以　上